

博士前期課程芸術専攻

専攻共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB031	西洋美術史-1	1	1.0	1・2	春AB	水2	5C404	長田 年弘	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史を中心に、イタリア・ルネサンスまでの作例に言及し、講義を行う。西洋美術史の特徴について考える。とりわけ、ギリシア神話とキリスト教聖書を主題とする作品について講じ、西洋美術史における宗教観、世界観と美術との関係を探る。 授業計画:(1) 西洋美術史の特質、(2) エクセキアスとマンテーニヤ、(3) ヴェローナ、サンゼノ教会堂、(4) ジオット、(5) バドヴァ、スクロヴェーニ礼拝堂1、(6) バドヴァ、スクロヴェーニ礼拝堂2、(7) アレクサンドロス美術、(8) アレクサンドロス・モザイク、(9) ビザンティン美術史、(10) 神と人、人と人の対面	2017年度までの「西洋美術史A-1」に相当。西暦偶数年度開講。01B9523、OATT011と同一。
01EB034	西洋美術史-2	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C404	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西欧近世における南北の美術と近代における受容について、文字史料と視覚資料の参照と分析を通じた理解を深める。 授業の概要:西洋近世の北方およびイタリア美術の具体的な作例について多面的に講述する。 授業計画:(1) 授業目標および内容に関する説明、(2) 中世末期の西欧美術、(3) 近世西欧美術の南北交流1 ジョルジョ・ヴァザーリ『列伝』、(4) 近世西欧美術の南北交流2 バルトロメオ・ファツィオ『名士録』、(5) 近世西欧美術の南北交流3 カーレル・ファン・マンデル『絵画書』、(6) 近世西欧美術の受容様態1 フリュッヘからヴェネツィアへ、(7) 近世西欧美術の受容様態2 ローマからアントワープへ、(8) 近代西欧美術の展開1「英国美術秘宝展」(1957)、(9) 近代西欧美術の展開2「プリミティブ・フラマン展」(1902)、(10) まとめ	2017年度までの「西洋美術史B-2」に相当。西暦偶数年度開講。01B9526、OATT012と同一。
01EB035	日本美術史	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術を編年的に理解するため、代表的作例を鑑賞し、時代様式を理解するとともに、どのような作品が評価されてきたのかを、時代背景と共に考察する能力を養うことを目的とする 授業の概要:各時代の代表作を取り上げ、講述し、作品の生まれた時代背景等、多面的に考察する。 授業計画:(1) 仏教伝来と法隆寺、(2) 東大寺・興福寺の美術、(3) 木彫仏の成立、(4) 密教の美術、(5) 浄土教の美術、(6) 鎌倉時代の美術、(7) やまと絵の成立、(8) 神道美術、(9) 似絵と頂相、(10) 禅宗美術	西暦奇数年度開講。01B9532、OATT021と同一。2020年度開講せず。
01EB041	美術論	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:美術と社会との関わりについて学び、作品の制作と発表に役立つ美術理論を理解することを目標とする。 授業の概要:欧米と日本のアーティストコロニー(芸術家村)を取り上げ、芸術家における「場」の問題について考察する。 授業計画:(1) 芸術家の集団肖像画、(2) パルピゾン派の画家たち、(3) フランスの印象派とセーヌ河畔の村、(4) アメリカの印象派とオールド・ライム、(5) 北欧の印象派:特にスケーエンについて、(6) ドイツの芸術家村ヴァルプスヴェーデ、(7) グレー村の日本人画家たち、(8) エコール・ド・パリとモンパルナスの異邦人たち、(9) 東京の芸術家村1、(10) 東京の芸術家村2	2017年度までの「美術論B-1」に相当。01B9555、OATT031と同一。2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB043	芸術教育論A-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:芸術教育批評の理論と方法について学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。 授業の概要:テキストに基づいて芸術教育実践の観察批評を実際に行う理論と方法の基礎を学ぶ。図画工作、美術、工芸の各教科の実践について、映像資料や、学校教員を招いての特別講義等を通して理解を深める。 授業計画:(1) 芸術教育批評の考え方と方法1(記述・分析)、(2) 芸術教育批評の考え方と方法2(解釈・主題化)、(3) 芸術教育批評の事例、(4) 映像批評等を活用した学習場面の把握・記述、(5) 映像批評等を活用した学習場面の解釈、(6) 授業実践の例 造形あそび等、(7) 授業実践の例絵や立体等、(8) 芸術教育批評の視点をを用いた現象分析の実際、(9) 学校における授業実践の現地観察の方法、(10) 学校における授業実践の現地観察の成果と課題	西暦奇数年度開講。OATT041と同一。2020年度開講せず。
01EB044	芸術教育論A-2	1	1.0	1・2					芸術教育批評の方法を、学校での現地演習等を通して学び、学校教育における芸術教育実践の理解・解釈・評価と教育方法開発に携わる基礎力を身につける。	西暦奇数年度開講。01B9513と同一。芸術教育論A-1を合わせて履修すること。
01EB047	書論特講I	1	1.5	1・2					書論に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える	教室:芸術学系棟B539 西暦奇数年度開講。01B9622と同一。
01EB048	書論特講II	1	1.5	1・2					書論に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書論史研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	教室:芸術学系棟B539 西暦奇数年度開講。01B9623と同一。
01EB049	書鑑賞論特講I	1	1.5	1・2	夏季休業中	集中		菅野 智明	書の鑑賞に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書鑑賞研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	教室:芸術学系棟B539 西暦偶数年度開講。01B9632と同一。
01EB050	書鑑賞論特講II	1	1.5	1・2	秋ABC	水2		菅野 智明	書の鑑賞に対する基礎的な知識を身につけるとともに、書鑑賞研究の方法について理解を深め、関連する諸問題に検討を加える。	教室:芸術学系棟B539 西暦偶数年度開講。01B9633と同一。
01EB061	構成論特講I	1	1.5	1・2	春ABC	金2	5C301	鄭 然暲, 國安 孝昌, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 村上 史明, 山本 美希, MCLEOD Roderick	構成分野が擁する諸領域(構成、総合造形、クラフト、ビジュアルデザイン)について各々の担当教員から概説することを通じて、造形諸分野の中での構成の位置付けを明らかにする。	01B9582と同一。
01EB062	構成論特講II	1	1.5	1・2	秋ABC	金2	5C301	鄭 然暲, 國安 孝昌, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 村上 史明, 山本 美希, MCLEOD Roderick	構成分野が擁する諸領域(構成、総合造形、クラフト、ビジュアルデザイン)について各々の担当教員から概説することを通じて、造形諸分野の中での構成の位置付けを明らかにする。	01B9583と同一。
01EB081	創造的復興:ローカルデザイン特別演習I	2	2.0	1	春C 夏季休業中	集中	6A208	宮原 克人, 鄭 然暲, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	授業の到達目標及びテーマ:地域・社会における課題解決を考えることで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力を身につけることを目的とする。 授業の概要:地域において、地域再生に向けたプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) ブレインストーミング、班分け、課題抽出、(3) 課題解決に向けたリサーチ(地域性)、(4) 課題解決に向けたリサーチ(創造性)、(5) リサーチのまとめ、(6) 中間発表会、(7) リサーチを踏まえた課題解決のための立案、(8) 立案したプランの実施準備(日程)、(9) 立案したプランの実施準備(方法)、(10) 最終発表会	平成27年度までの「創造的復興特別演習I」に相当。創造的復興:チャレンジ学外特別演習と併せて履修すること。OATTX01と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB082	創造的復興:チャレンジ学外特別演習I	2	2.0	1	秋ABC	集中	6A208	宮原 克人, 鄭 然 暲, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ:創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、複眼的視点で復興支援を捉えることの出来る情報発信力、つなぐ力、突破力を備えた人材の育成を目標とする。</p> <p>授業の概要:地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p> <p>授業計画:「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」において立案した課題解決プランに基づき、地域においてイベント等を実践する。(班ごとに実施内容が異なるため、計画例を以下に示す)</p> <p>(1)「創造的復興:ローカルデザイン特別演習II」における課題解決プランの確認、(2) 地域(人・場所・日程)との調整1、(3) 地域(人・場所・日程)との調整2、(4) イベント実施場所の確認、(5) イベント進行の確認、役割分担について1、(6) イベント進行の確認、役割分担について2、(7) イベント実施場所における会場設置準備1、(8) イベント実施場所における会場設置準備2、(9) イベントにおける展示発表準備1、(10) イベントにおける展示発表準備2、(11) イベントの最終調整(開催場所や地域において)、(12) イベント会場の設置1、(13) イベント会場の設置2、(14) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)1、(15) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)2、(16) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)3、(17) 実施場所の片付け、(18) イベント総括、(19) 最終報告会(全チームによる)、(20) 全体のまとめ</p>	平成27年度までの「創造的復興特別学外演習I」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習Iと併せて履修すること。 OATTX11と同一。
01EB084	創造的復興:ローカルデザイン特別演習II	2	2.0	2	春C 夏季休業中	集中	6A208	宮原 克人, 鄭 然 暲, 齋藤 敏寿, 原 忠信, 村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ:「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」において、地域・社会の課題解決を考え、創造的で柔軟な思考方法について学んだ。それらを継続しつつ地域・社会の課題解決に関わる新たな視点を獲得し、情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を身につけることを目的とする。</p> <p>授業の概要:「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」において実施した地域再生に向けたプランを評価し、新たなプランを計画・提案することで、創造的で柔軟な思考方法について学び、情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を身につけ、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p> <p>授業計画:(1) ガイダンス、(2) プレインストロミング、班分け、「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」で実施した活動の評価、(3) 課題解決に向けたリサーチ(地域性)、(4) 課題解決に向けたリサーチ(創造性)、(5) リサーチのまとめ、(6) 中間発表会、(7) リサーチを踏まえた課題解決のための立案、(8) 立案したプランの実施準備(日程)、(9) 立案したプランの実施準備(方法)、(10) 最終発表会</p>	平成27年度までの「創造的復興特別演習II」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習Iを履修済みのこと。創造的復興:国際発表学外特別演習と併せて履修すること。 OATTX02と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB085	創造的復興:チャレンジ特別学外演習II	2	2.0	2	秋ABC	集中	6A208	宮原 克人, 鄭 然, 原 忠信, 齋藤 敏寿, 村上 史明	<p>授業の到達目標及びテーマ:「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」において、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得した。継続して課題に取り組み、複眼的視点で復興支援を促えることのできる情報発信力、つなぐ力、突破力、継続力を備えた人材の育成を目標とする。</p> <p>授業の概要:「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」において実施した地域再生に向けたプランを評価し、新たなプランを計画・提案することで、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的・継続的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p> <p>授業計画:「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」において立案した課題解決プランに基づき、地域においてイベント等を実践する。(班ごとに実施内容が異なるため、計画例を以下に示す)</p> <p>(1)「創造的復興:チャレンジ学外特別演習I」で実施した活動の評価、(2)「創造的復興:ローカルデザイン特別演習I」における課題解決プランの確認、(3) 地域(人・場所・日程)との調整、(4) イベント実施場所の確認、(5) イベント進行の確認、役割分担について1、(6) イベント進行の確認、役割分担について2、(7) イベント実施場所における会場設置準備1、(8) イベント実施場所における会場設置準備2、(9) イベントにおける展示発表準備1、(10) イベントにおける展示発表準備2、(11) イベントの最終調整(開催場所や地域において)、(12) イベント会場の設置1、(13) イベント会場の設置2、(14) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)1、(15) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)2、(16) イベント実施(地域資源を活用するプランの実施)3、(17) 実施場所の片付け、(18) イベント総括、(19) 最終報告会(全チームによる)、(20) 全体のまとめ</p>	平成27年度までの「創造的復興特別学外演習II」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習IIと併せて履修すること。OATTX12と同一。
01EB086	創造的復興:国際学外演習	2	2.0	1・2	通年	随時		原 忠信	<p>地域の課題に対し、地域再生に向けたプランを実施する。その中で、文化的資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得し、実践的な創造的復興力を養う。アート、デザイン、工芸などをはじめとした多様な領域の内容を包含する。</p>	平成27年度までの「創造的復興特別学外演習II」に相当。創造的復興:ローカルデザイン特別演習Iまたは、創造的復興:ローカルデザイン特別演習IIと併せて履修すること。
01EB063	大学を開くデザインプロデュース特講・演習A-I	2	1.5	1・2					<p>複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。</p>	同演習A-IIも合わせて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦奇数年度開講。01B9603と同一。
01EB064	大学を開くデザインプロデュース特講・演習A-II	2	1.5	1・2					<p>複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。</p>	同演習A-Iも合わせて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦奇数年度開講。01B9604と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB065	大学を開くデザインプロデュース特講・演習B-I	2	1.5	1・2	春ABC	応談		渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習B-IIも合わせて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦偶数年度開講。01B9605と同一。
01EB066	大学を開くデザインプロデュース特講・演習B-II	2	1.5	1・2	秋ABC	応談		渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。	同演習B-Iも合わせて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦偶数年度開講。01B9606と同一。
01EB026	デザイン特講C	1	1.0	1・2					環境デザインの主要な事例を取り上げ、実務的観点から諸問題を検討する。	教室:芸術学系棟B521 西暦奇数年度開講。
01EB027	デザイン特講D	1	1.0	1・2	通年	集中	芸術B521	加藤 研, 貝島 桃代	建築デザインについての主要なテキストならびに作品を取り上げ、諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。
01EB067	芸術国際演習A	2	1.0	1・2	通年	随時		芸術専攻カリキュラム委員	海外での研究発表や作品制作・発表について事前・事後の演習を行う。	
01EB068	芸術国際演習B	2	1.0	1・2	通年	随時		芸術専攻カリキュラム委員	海外での研究発表や作品制作・発表について事前・事後の演習を行う。	

専門科目【芸術学領域群】【美術史領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB401	西洋近世美術史特講I-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する講義。「受難伝」の図像を分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 「キリストのエルサレム入城」から「最後の晩餐」、(3) 「使徒たちへの暇乞い」から「菜園での祈り」、(4) 「キリストの捕縛」から「キリストの打擲」、(5) 「パリサイ人に告発されるキリスト」から「ピラトの前のキリスト」、(6) 「鞭打ち」から「カルヴァリオ」、(7) 「磔刑」から「十字架降下」、(8) 「埋葬」から「冥府への降下」、(9) 「我に触れるな」から「エマオへの道での邂逅」、(10) 総括	西暦奇数年度開講。OATTA01と同一。2020年度開講せず。
01EB402	西洋近世美術史特講I-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する講義。キリストの生涯をめぐる図像を分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 降誕、洗礼、(3) 荒野の誘惑、十二使徒の選抜、(4) 山上の垂訓、(5) 変容、(6) 最後の晩餐、(7) 受難、(8) 磔刑、(9) 復活と昇天、(10) 総括	西暦奇数年度開講。OATTA02と同一。2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB403	西洋近世美術史特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	火5	芸術 B339	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史の特定課題に関する講義。15世紀ネーデルラント絵画を多面的に分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 15世紀ネーデルラント絵画のアイデンティティ、(3) 絵画とパトロン、(4) 注文主と図像形式、(5) 流行と様式批判、(6) 経済活動と技法、(7) コピーとレプリカ、(8) 祈念像、(9) 奉獻画、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 01B9744、OATTA03と同一。
01EB404	西洋近世美術史特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	火5	芸術 B339	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する理解を深める。とくに西欧絵画に関する研究を事例として考察する。 授業の概要:西洋近世美術史の特定課題に関する講義。16世紀ネーデルラント絵画を多面的に分析し講述する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 16世紀ネーデルラント絵画のアイデンティティ、(3) 絵画とマーケット、(4) 社会背景と主題、(5) 流行と様式批判、(6) 工房経営、(7) コピーとレプリカ、(8) ロマニズム、(9) 対抗宗教改革と美術、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 01B9745、OATTA04と同一。
01EB405	西洋近世美術史演習I-1	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術に関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をとおして、理解を深める。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西欧近世の美術を多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献購読1、(3) 文献購読2、(4) 文献購読3、(5) 文献購読4、(6) 文献購読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦奇数年度開講。 OATTA05と同一。 2020年度開講せず。
01EB406	西洋近世美術史演習I-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋近世ないし近代の美術に関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をとおして、理解を深める。 授業の概要:西洋近世ないし近代美術史における特定課題に関する演習。西欧近世ないし近代の美術を多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献購読1、(3) 文献購読2、(4) 文献購読3、(5) 文献購読4、(6) 文献購読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦奇数年度開講。 OATTA06と同一。 2020年度開講せず。
01EB407	西洋近世美術史演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	火6	芸術 B339	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:西洋近世の美術コレクションに関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をとおして、理解を深める。 授業の概要:西洋近世美術史における特定課題に関する演習。西欧近世の美術コレクションを多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献購読1、(3) 文献購読2、(4) 文献購読3、(5) 文献購読4、(6) 文献購読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦偶数年度開講。 OATTA07と同一。
01EB408	西洋近世美術史演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	火6	芸術 B339	寺門 臨太郎	授業の到達目標及びテーマ:近代における西洋近世美術の展示に関する英語またはドイツ語の文献購読、および個別に設定するテーマについての発表演習をとおして、理解を深める。 授業の概要:西洋美術史における特定課題に関する演習。近代における西欧近世美術の展示を多角的に考察する。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 文献購読1、(3) 文献購読2、(4) 文献購読3、(5) 文献購読4、(6) 文献購読5、(7) 発表演習1、(8) 発表演習2、(9) 発表演習3、(10) 発表演習4/総評	西暦偶数年度開講。 OATTA08と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB409	近・現代美術論特講1-1	1	1.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。</p> <p>授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。本授業では「美術における身体」をテーマに講述する。</p> <p>授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 裸体画の美術史1 西洋1、(3) 裸体画の美術史2 西洋2、(4) 裸体画の美術史3 日本1、(5) 裸体画の美術史4 日本2、(6) 「美人」の美術史1 日本1、(7) 「美人」の美術史2 日本2、(8) 「サイボーグ・フェミニズム」以後1、(9) 「サイボーグ・フェミニズム」以後2、(10) 総括</p>	西暦奇数年度開講。OATTA11と同一。2020年度開講せず。
01EB410	近・現代美術論特講1-2	1	1.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。</p> <p>授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。本授業では「国家を表象する女神像」をテーマに講述する。</p> <p>授業計画:(1) 国家を表象する女神像の考察1 フランス:マリアンヌ、(2) 国家を表象する女神像の考察2 イギリス:ブリタニア、(3) 国家を表象する女神像の考察3 ドイツ:ゲルマニア、(4) 日本を表象する図像の考察1 天皇の肖像、(5) 日本を表象する図像の考察2 皇后の肖像、(6) 日本を表象する図像の考察3 古代神話の女神像、(7) 倭姫命について1、(8) 倭姫命について2、(9) 倭姫命について3、(10) 倭姫命について4 アンヌ</p>	西暦奇数年度開講。OATTA12と同一。2020年度開講せず。
01EB411	近・現代美術論特講11-1	1	1.0	1・2	春AB	木3	芸術B339	林 みちこ	<p>授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。</p> <p>授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。「日本近代美術史と省庁、官僚」をテーマとする。</p> <p>授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) 日本近代美術史と省庁1、(3) 日本近代美術史と省庁2、(4) 内務省および内務官僚と美術1、(5) 内務省および内務官僚と美術2、(6) 「官製日本美術史」の形成1、(7) 「官製日本美術史」の形成2、(8) 「国宝」の政治学1、(9) 「国宝」の政治学2、(10) 総括</p>	西暦偶数年度開講。01B9750、OATTA13と同一。
01EB412	近・現代美術論特講11-2	1	1.0	1・2	秋AB	木3	芸術B339	林 みちこ	<p>授業の到達目標及びテーマ:近現代美術史における特定課題に関する講義。日本近現代および西洋近現代の美術と文化、政治、制度、外交などの関係を多面的に分析し講述する。</p> <p>授業の概要:近・現代美術における特定課題に関する講義。「日本近代美術史における《地域美術史》」をテーマとする。</p> <p>授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、(2) ローカル・アートヒストリー(地域美術史)とは、(3) 地域美術史1 地方都市の画塾、(4) 地域美術史2 近・現代の画家1、(5) 地域美術史3 近・現代の画家2、(6) 地域美術史4 地方のコレクターとそのネットワーク、(7) 地域美術史5 地方における近・現代の美術史家、(8) 地域美術史に関する研究の動向、(9) 地域美術史に関する展示会の動向、(10) 総括</p>	西暦偶数年度開講。01B9753、OATTA14と同一。
01EB413	近・現代美術論演習1-1	2	1.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:近・現代の美術に関する英語の文献講読により近・現代の美術に関する理解を深め問題意識を高める。</p> <p>授業の概要:近・現代美術史における特定の課題に関する演習。</p> <p>授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、学生プロフィール記入、(2) 近・現代美術史に関する資料および作品へのアプローチについて、(3) 文献輪読1、(4) 文献輪読2、(5) 文献輪読3、(6) 文献輪読4、(7) 文献輪読5、(8) 文献輪読6、(9) 文献輪読7、(10) 文献輪読8</p>	西暦奇数年度開講。OATTA15と同一。2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB414	近・現代美術論演習I-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術史に関して明治政府が発行した外国語文献を講読し、翻訳および註釈を付けることにより、近代日本の対外美術戦略の一端を明らかにする。 授業の概要:美術史用語や内容について註釈を付け、解題の充実した現代日本語による翻訳を完成させることを目指す。 授業計画:(1) 翻訳と註釈の進め方について、(2) 翻訳と註釈の発表と全体討議1、(3) 翻訳と註釈の発表と全体討議2、(4) 翻訳と註釈の発表と全体討議3、(5) 翻訳と註釈の発表と全体討議4、(6) 翻訳と註釈の発表と全体討議5、(7) 翻訳と註釈の発表と全体討議6、(8) 翻訳と註釈の発表と全体討議7、(9) 翻訳と註釈の発表と全体討議8、(10) 翻訳・解題の出版に関する編集会議	西暦奇数年度開講。 OATTA16と同一。 2020年度開講せず。
01EB415	近・現代美術論演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	木4	芸術B339	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:近・現代の美術に関して各自が設定したテーマについて研究発表することにより近・現代の美術に関する理解を深め問題意識を高める。 授業の概要:近・現代美術史における特定の課題に関する演習。各自の見解を明確にした上で最新の研究成果をふまえた発表を求める。 授業計画:(1) 授業計画、成績評価方法等に関するガイダンス、学生プロフィール記入、(2) 近・現代美術史に関する資料および作品へのアプローチについて、(3) 教員による研究発表、(4) 発表演習1、(5) 発表演習2、(6) 発表演習3、(7) 発表演習4、(8) 発表演習5、(9) 発表演習6、(10) 総括	西暦偶数年度開講。 OATTA17と同一。
01EB416	近・現代美術論演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	木4	芸術B339	林 みちこ	授業の到達目標及びテーマ:日本美術史に関して明治政府が発行した外国語文献を講読し、翻訳および註釈を付けることにより、近代日本の文化財保護政策の一端を明らかにする。 授業の概要:美術史用語や内容について註釈を付け、解題の充実した現代日本語による翻訳を完成させることを目指す。 授業計画:(1) 翻訳と註釈の進め方について、(2) 翻訳と註釈の発表と全体討議1、(3) 翻訳と註釈の発表と全体討議2、(4) 翻訳と註釈の発表と全体討議3、(5) 翻訳と註釈の発表と全体討議4、(6) 翻訳と註釈の発表と全体討議5、(7) 翻訳と註釈の発表と全体討議6、(8) 翻訳と註釈の発表と全体討議7、(9) 翻訳と註釈の発表と全体討議8、(10) 翻訳・解題の出版に関する編集会議	西暦偶数年度開講。 OATTA18と同一。
01EB417	西洋古代美術史特講I-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と宗教について講義を行う。公的な建造物、神殿と附属彫刻を中心に講義を行う。	西暦奇数年度開講。 OATTA21と同一。 2020年度開講せず。
01EB418	西洋古代美術史特講I-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と宗教について講義を行う。私的な領域、奉納記念物と葬礼美術を中心に講義を行う。	西暦奇数年度開講。 OATTA22と同一。 2020年度開講せず。
01EB419	西洋古代美術史特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	芸術B339	長田 年弘	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と社会について講義を行う。アルカイックからクラシック期の、僭主政治から民主政成期にかけての、政治体制と美術を中心に講義を行う。	西暦偶数年度開講。 01B9758、OATTA23と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB420	西洋古代美術史特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	芸術B339	長田 年弘	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する講義。古代ギリシアおよびローマの作品を多面的に分析し講述する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。あわせて、邦語と外国語による専門的な論文を紹介し、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。 西洋古代美術史の、美術と社会について講義を行う。クラシック期からヘレニズム期にかけての美術を中心に講義を行う。	西暦偶数年度開講。 01B9759、OATTA24と同一。
01EB421	西洋古代美術史演習I-1	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と宗教について、特に公的な建造物、神殿と附属彫刻を主題として設定する。	西暦奇数年度開講。 OATTA25と同一。 2020年度開講せず。
01EB422	西洋古代美術史演習I-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と宗教に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と宗教について、特に私的な領域、奉納記念物と葬礼美術を主題として設定する。	西暦奇数年度開講。 OATTA26と同一。 2020年度開講せず。
01EB423	西洋古代美術史演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	火4	芸術B339	長田 年弘	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と社会について、アルカイックからクラシック期の、僭主政治から民主政成立期にかけての政治体制と美術を主題として設定する。	西暦偶数年度開講。 OATTA27と同一。
01EB424	西洋古代美術史演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	火4	芸術B339	長田 年弘	授業の到達目標及びテーマ:西洋古代美術史の美術と社会に関する演習。古代ギリシアおよびローマの美術を多面的に考察する。 授業計画:西洋古代ギリシア、ローマ、初期キリスト教美術史について学ぶ。授業参加者が、演習発表をそれぞれ担当することによって、研究発表と論文作成の基礎について学ぶ。西洋古代美術史の、美術と社会について、クラシック期からヘレニズム期にかけての美術を主題として設定する。	西暦偶数年度開講。 OATTA28と同一。
01EB425	日本美術史特講I-1	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術の特定課題について講義を行い、表現の特性を探り、研究的な視点を醸成する。また、論文主題をどのように取り上げ、論じるかを考察する。 授業の概要:編年的に日本美術の代表作を鑑賞し、その特性を探り、研究的な視点を構築する。 授業計画:(1) 近世初頭の美術と表現について1、(2) 近世初頭の美術と表現について2、(3) 近世初頭の美術と表現について3、(4) 近世風俗画について1、(5) 近世風俗画について2、(6) 初期の浮世絵、(7) 美人画と役者絵、(8) 錦絵について、(9) 北斎と広重、(10) ジャポニズム	西暦奇数年度開講。 OATTA31と同一。 2020年度開講せず。
01EB426	日本美術史特講I-2	1	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術の特定課題について講義を行い、表現の特性を探り、研究的な視点を醸成する。また、論文主題をどのように取り上げ、論じるかを考察する。 授業の概要:編年的に日本美術の代表作を鑑賞し、その特性を探り、研究的な視点を構築する。 授業計画:(1) 日本絵画における特定課題の講義、(2) 近世初頭の美術と表現について1、(3) 近世初頭の美術と表現について2、(4) 琳派の表現1、(5) 琳派の表現2、(6) 琳派の表現3、(7) 琳派の継承1、(8) 近代日本画1 文展、(9) 近代日本画2 美術院、(10) 日本の絵画の特質について	西暦奇数年度開講。 OATTA32と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB427	日本美術史特講II-1	1	1.0	1・2	春AB	木5	芸術B339	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術の特定課題について講義を行い、表現の特性を探り、研究的な視点を醸成する。また、論文主題をどのように取り上げ、論じるかを考察する。 授業の概要:近世初頭の風俗画から浮世絵の成立、大正新版画までを対象に代表作を通して、我が国を代表する浮世絵を考察する。 授業計画:(1) 初期風俗画について、(2) 都市の成立と人物表現について、(3) 歌舞伎と役者絵について、(4) 版画技法と表現の変化について、(5) 絵層交換会について、(6) 大首絵とその代表的絵師、(7) 出版の統制について、(8) 風景表現について、(9) 明治期の浮世絵について、(10) 大正新版画について	西暦偶数年度開講。 01B9764, OATTA33と同一。
01EB428	日本美術史特講II-2	1	1.0	1・2	秋AB	木5	芸術B339	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:特定の美術作品について、時代様式や背景となる事象を通して、美術作品が歴史的に評価され、伝来している意味を解釈し、研究的な視点を養うことを目的とする。 授業の概要:仏教美術の諸相を代表作を通して鑑賞し、時代様式について考える。 授業計画:(1) 仏教美術の彫刻表現について1、(2) 仏教美術の彫刻表現について2、(3) 仏教美術の彫刻表現について3、(4) 仏教寺院の内陣の構想について1、(5) 仏教寺院の内陣の構想について2、(6) 仏教寺院の内陣の構想について3、(7) 仏教美術の大陸からの受容のあり方について1、(8) 仏教美術の大陸からの受容のあり方について2、(9) 仏教美術の国風の表現について1、(10) 仏教美術の国風の表現について2	西暦偶数年度開講。 01B9765, OATTA34と同一。
01EB429	日本美術史演習I-1	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(実際の文献史料)を調査し、研究視点を構築する。 授業計画:(1) 文献史料調査(写真撮影)の方法、(2) 文献史料の調査1、(3) 文献史料の調査2、(4) 文献史料の調査3、(5) 文献史料の調査4、(6) 調査史料のディスカッション、(7) 文献史料の補完調査1、(8) 文献史料の補完調査2、(9) 文献史料の調査と研究視点、(10) 文献史料の総合的な検討を行う	西暦奇数年度開講。 OATTA35と同一。 2020年度開講せず。
01EB430	日本美術史演習I-2	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(文献史料)を講読し、研究視点を構築する。 授業計画:(1) 文献史料講読の方法、(2) 文献史料の講読1、(3) 文献史料の講読2、(4) 文献史料の講読3、(5) 文献史料の講読4、(6) 文献史料の講読5、(7) 文献史料の講読6、(8) 文献史料の講読7、(9) 文献史料の講読8、(10) 文献史料の総合的な検討を行う	西暦奇数年度開講。 OATTA36と同一。 2020年度開講せず。
01EB431	日本美術史演習II-1	2	1.0	1・2	春AB	木6	芸術B339	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(実際の作品)を調査し、研究視点を構築する。 授業計画:(1) 実際の作品の調査のあり方について、(2) 作品調査の方法について、(3) 第1回調査、(4) 調査作品についてのディスカッション、(5) 調査作品のディスクリプション、(6) 第2回調査(第1回調査の補完を行う)、(7) 調査報告のあり方について、(8) 先行研究について、(9) 資料調査と研究視点、(10) 総合的な解釈	西暦偶数年度開講。 OATTA37と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB432	日本美術史演習II-2	2	1.0	1・2	秋AB	木6	芸術B339	水野 裕史	授業の到達目標及びテーマ:日本美術に関する任意の主題を実際に調査し、先行研究を検討し、主題の解釈を行う。 授業の概要:任意の主題(実際の作品)を調査し、研究視点を構築する。 授業計画:(1) 作品調査1、(2) 作品調査2、(3) 研究主題に基づき、検討を加える1、(4) 研究主題に基づき、検討を加える2、(5) 先行研究について、検討を加える1、(6) 先行研究について、検討を加える2、(7) 研究主題について、口頭発表し、検討する1、(8) 研究主題について、口頭発表し、検討する2、(9) 研究主題について、口頭発表し、検討する3、(10) 研究主題の総合的な検討を行う。	西暦偶数年度開講。OATTA38と同一。
01EB441	美術史学外演習I	2	1.5	1					学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	2020年度開講せず。
01EB442	美術史学外演習II	2	1.5	2					学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	2020年度開講せず。
01EB443	美術史学外演習I	2	2.0	1	秋ABC	集中		長田 年弘, 寺門臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	
01EB444	美術史学外演習II	2	2.0	2	秋ABC	集中		長田 年弘, 寺門臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	学外訪問先における調査演習。美術作品や歴史的建築物を実地で観察し、美術史研究のプラクティカルな研究方法を演習する。	
01EB122	美術史領域特別演習	2	3.0	1	通年	応談		長田 年弘, 寺門臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	修士論文作成を視野に入れた美術史の特定課題に関する演習。研究倫理についても理解を深める。	
01EB301	美術史領域特別研究	2	3.0	2	通年	応談		長田 年弘, 寺門臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術史における特定課題に関する特別研究。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【芸術学領域群】【芸術支援領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB135	芸術支援学学外演習I	2	1.5	1	通年	随時		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	芸術支援活動の現場(美術館、美術ギャラリー、市民芸術村、野外現代美術展会場、画廊、美術品修復施設等)での見学を通じ、芸術支援活動の企画運営を実地に学ぶ。	
01EB451	芸術学習支援演習A	4	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄, 吉田 奈穂子	ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。
01EB452	芸術学習支援演習B	4	1.0	1・2					ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。2020年度開講せず。
01EB479	芸術学習支援論A	1	2.0	1・2	通年	随時	芸術B139	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	ビジュアル・シンキング・ストラテジーの実践について学び、芸術学習支援活動を企画運営するための基礎力を養う。	西暦偶数年度開講。01B9567と同一。
01EB480	芸術学習支援論B	1	2.0	1・2					ビジュアル・シンキング・ストラテジーの実践について学び、芸術学習支援活動を企画運営するための基礎力を養う。	西暦奇数年度開講。01B9568と同一。
01EB481	芸術支援学学外演習II	2	1.5	2	通年	随時		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	芸術支援活動の現場(美術館、美術ギャラリー、市民芸術村、野外現代美術展会場、画廊、美術品修復施設等)での見学を通じ、芸術支援活動の企画運営を実地に学ぶ。	
01EB482	芸術支援ワークショップI	2	1.0	1・2	秋ABC	集中	芸術B139	直江 俊雄, 吉田 奈穂子	授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アートライター大賞」に学生選考委員として参加し、アトライティング教育の実践を支援しながら、芸術支援における言葉の役割を考える。 授業計画:(1) 日本の美術・デザイン・工芸教育の特色と課題、(2) 日本と英国の中等美術教育におけるアトライティングの比較、(3) アトライティング教育の意義と方法、(4) 高校生アートライター大賞の目的、歴史、運営、(5) 高校生アートライター大賞の選考基準、(6) 過去受賞作品の検討、(7) 選考過程リハーサル、(8) 第一次選考作品の検討、(9) 第一次選考作品の評価、(10) 本授業の成果と課題	西暦偶数年度開講。OATTB31と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB483	芸術支援ワークショップI	2	1.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。</p> <p>授業の概要:美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アートライター大賞」に学生選考委員として参加し、アートライティング教育の実践を支援しながら、芸術教育における言葉の役割を考える。</p> <p>授業計画:(1)「制作体験」のアートライティングと美術・デザイン・工芸の学習における「表現」、(2)「作品探究」のアートライティングと美術・デザイン・工芸の学習における「鑑賞」、(3)「芸術支援」のアートライティングと美術・デザイン・工芸の学習の社会的視点、(4)高校生アートライター大賞の参加者の意識、(5)高校生アートライター大賞に参加した指導者の意識、(6)選考過程リハーサル、(7)第二次選考作品の検討、(8)第二次選考作品の評価、(9)筑波大学学生賞の選考、(10)本授業の成果と課題</p>	西暦奇数年度開講。OATTB32と同一。2020年度開講せず。
01EB484	芸術教育方法論A-1	1	1.0	1・2	春AB	木4	芸術B139	直江 俊雄	<p>授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する研究の多様なアプローチを理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。</p> <p>授業の概要:主として現代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、比較教育の視点からの探究事例を論じる。</p> <p>授業計画:(1)美術教育の比較研究(日本)、(2)美術教育の比較研究(英国ほか)、(3)デザイン教育の比較研究(日本)、(4)デザイン教育の比較研究(英国ほか)、(5)工芸教育の比較研究(日本)、(6)工芸教育の比較研究(英国ほか)、(7)鑑賞教育の比較研究(日本)、(8)鑑賞教育の比較研究(英国ほか)、(9)教員養成の比較研究(日本)、(10)教員養成の比較研究(英国ほか)</p>	平成27年度までの「芸術教育方法論A」に相当 西暦偶数年度開講。01B9506、OATTB11と同一。
01EB485	芸術教育方法論A-2	1	1.0	1・2	秋AB	木4	芸術B139	直江 俊雄、吉田 奈穂子	<p>授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する研究の多様なアプローチを理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。</p> <p>授業の概要:主として現代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、より適切な解釈を提示できる能力の育成を目指して、文献資料の収集と整理、解説、要約、問題点の提示、討論、論述などを行う。</p> <p>授業計画:(1)研究データベースについて(国内の事例)、(2)研究データベースについて(海外の事例)、(3)学術論文のレビューについて、(4)国内の主要な研究動向、(5)海外の主要な研究動向、(6)研究目的、方法、結果の相互関連、(7)関連研究の把握と独自性の探究、(8)調査方法の概観、(9)調査方法の信頼性と妥当性、(10)プレゼンテーション技法</p>	平成27年度までの「芸術教育方法論A」に相当 西暦偶数年度開講。01B9507、OATTB12と同一。
01EB486	芸術教育方法論B-1	1	1.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する史的探究の事例を中心に、芸術教育に関する主要な研究方法を理解し、各自の研究手法確立へ向けての準備とする。</p> <p>授業の概要:近代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、主として19世紀後半から現在までの英国における中等教育の変革を事例として論じる。</p> <p>授業計画:(1)芸術教育方法研究の概観(美術思想とのかかわり)、(2)芸術教育方法研究の概観(教育思想とのかかわり)、(3)芸術教育方法研究の概観(社会的諸制度とのかかわり)、(4)芸術教育方法研究の概観(理念と方法論の関係)、(5)芸術教育方法研究の概観(成果と課題)、(6)芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの基本理念)、(7)芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(8)芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(9)芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)、(10)芸術教育方法研究の事例検討(リチャードソンの方法論)</p>	平成28年度までの「芸術教育方法論B」に相当。OATTB13と同一。2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB487	芸術教育方法論B-2	1	1.0	1・2					<p>授業の到達目標及びテーマ:芸術教育の方法に関する史的探究の事例を中心に、芸術教育に関する主要な研究方法を理解し、各自の研究方法確立へ向けての準備とする。</p> <p>授業の概要:近代における美術・デザイン・工芸教育の方法に関して、芸術思想、教育思想、社会的諸制度などの背景を含めて理解し、その探究から導かれる諸問題について多角的に考察する。</p> <p>授業計画:(1) 研究課題と方法の設定(テーマの選択)、(2) 研究課題と方法の設定(テーマと方法の妥当性の検討)、(3) 研究課題と方法の設定(研究の構造化)、(4) 研究課題と方法の設定(全体構想の図式化)、(5) 資料収集と分析(収集法)、(6) 資料収集と分析(先行研究の成果)、(7) 資料収集と分析(先行研究の限界)、(8) 資料収集と分析(研究の位置づけの明確化)、(9) 資料解釈と論文構成(問題の所在)、(10) 資料解釈と論文構成(目的の明確化)</p>	平成28年度までの「芸術教育方法論B」に相当。OATTB14と同一。2020年度開講せず。
01EB489	芸術科教育特講a	1	1.0	1・2	春AB	水3	芸術B234	石崎 和宏	<p>芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、芸術教育におけるディシプリンや今日的課題、〈新しい能力〉概念と芸術教育、芸術教育における能力観、芸術教育におけるイメージリテラシー、学習科学と芸術教育等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。</p>	西暦偶数年度開講。01B9502、OATAJ01と同一。
01EB490	芸術科教育特講b	1	1.0	1・2	秋ABC	水3集中	芸術B234	石崎 和宏	<p>芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、描画表現における発達、表現、鑑賞学習への動機づけ、芸術学習における転移、芸術学習におけるメタ認知、鑑賞スキルとその発達等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。</p>	西暦偶数年度開講。01B9503、OATAJ02と同一。
01EB491	芸術科教育実践論演習a	2	1.0	1・2					<p>近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、仮説と理論の関係、リサーチクエスションの設定、分析ワークシートの作成、理論生成のプロセス等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。</p>	01B9504、OATAJ03と同一。2020年度開講せず。
01EB492	芸術科教育実践論演習b	2	1.0	1・2					<p>近年の教育実践研究における質的研究の方法に注目し、その基本的概念と手順について理解を深め、芸術科教育での課題に対する各自の問題意識と対応させた方法を習得することを目標とする。そのために、芸術科教育実践における今日的な課題を解決するための質的アプローチの基本的概念について、協同学習における理解深化プロセス、パフォーマンス評価による学びの可視化、対話型鑑賞における鑑賞者同士の学習支援等の視点から理解し、実践におけるさまざまな問題の背景要因の分析と問題解決のための理論モデル生成の手法について演習する。</p>	01B9505、OATAJ04と同一。2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB493	芸術鑑賞論a-1	1	1.0	1・2	春AB	火3	芸術B234	石崎 和宏, 王文純	人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞における協動的学習の知見を理解し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方策を開発できることを目標とする。そのために、近年の教育改革や学習理論において注目されている対話による協動的学習に着目し、対話型鑑賞の考え方やその実践例を概観しつつ、そのプロセスを取り入れた対話型美術鑑賞の可能性と課題について、学校や美術館での対話型鑑賞を想定したミニ実践を通して考察する。	西暦偶数年度開講。 01B9573, OATAJ05と同一。
01EB494	芸術鑑賞論a-2	1	1.0	1・2	秋AB	火3	芸術B234	石崎 和宏	人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞に関する方略的な知見を習得し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方策を開発できることを目標とする。そのために、芸術作品の鑑賞プロセスでの思考や概念の変化を事例ごとにマッピングし、パーソンズ (Parsons, M.) の発達理論と対比しつつ、芸術鑑賞におけるスキルやメタ認知のとらえ方について、鑑賞文からのスキル分析や鑑賞における思考の構造化の視点から検討し、芸術教育における実践への具体化を考察する。	西暦偶数年度開講。 01B9574, OATAJ06と同一。
01EB495	芸術鑑賞論b-1	1	1.0	1・2					人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞における協動的学習の知見を理解し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方策を開発できることを目標とする。そのために、芸術鑑賞における解釈や判断等の思考過程に注目し、その過程で葛藤やジレンマ、意味の生成、論争などを促す方法について検討する。さらに美的思考の深化を促す美的判断ジレンマやArt as Therapyのプランを立案・実践し、議論する。	01B9575, OATAJ07と同一。 2020年度開講せず。
01EB496	芸術鑑賞論b-2	1	1.0	1・2					鑑賞教育研究の方法論やユニークな方策について理解し、各自の研究に生かす独自の調査方法や研究ツールを開発することができることを目標とする。そのために、芸術鑑賞教育研究に関わる先行研究をレビューし、美術鑑賞プロフィール (AAP)、パフォーマンス評価、対話による鑑賞活動、協同学習を取り入れた鑑賞などの具体的な知見から研究方法を考察し、鑑賞教育研究の方法論について全般的に理解を深め、各自の研究における独自の調査方法をそれぞれが開発する。	01B9576, OATAJ08と同一。 2020年度開講せず。
01EB497	芸術支援ワークショップIII	2	1.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ: 芸術支援に関わるワークショップに参加し、芸術支援活動の対象、方法、評価、意義、ならびに社会との関わりについて多角的に考える力を付ける。 授業の概要: 美術・デザイン・工芸など芸術に関わる高校生のエッセイコンテスト「高校生アーティスト大賞」に学生選考委員として参加し、アートライティング教育の実践を支援しながら、芸術教育における言葉の役割を考える。 授業計画: (1) オリエンテーション、(2) ワークショップ活動の企画、(3) アートライティング学習の評価方法、(4) アートライティング学習の奨励方法、(5) アートライティング学習支援の実践、(6) アートライティング学習支援メッセージの作成、(7) アートライティング学習による交流支援の計画、(8) アートライティング学習による交流支援の実施、(9) アートライティング学習による交流支援の評価、(10) 本授業の成果と課題	西暦奇数年度開講。 OATTB33と同一。 2020年度開講せず。
01EB498	芸術学習支援演習A	2	2.0	1・2					ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
01EB499	芸術学習支援演習B	2	2.0	1・2					ビジュアル・シンキング・ストラテジーの高度な実践とコーチングの方法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
01EB146	芸術支援領域特別演習	2	3.0	1	通年	応談		直江 俊雄, 石崎 和宏, 吉田 奈穂子	芸術支援領域に関する特別演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB302	芸術支援領域特別研究	2	3.0	2	通年	応談		直江 俊雄, 石崎和宏, 吉田 奈穂子	論文作成について、受講者が設定したテーマに即して指導する。明解な論理と独自性のある主張を備えた論文の実現を目指す。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【芸術学領域群】【洋画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB201	洋画技法論特講	1	2.0	1・2	春AB秋AB	木1	6B203	内藤 定壽, 仏山輝美, 田島 直樹, 福満 正志郎, 星 美加	油彩画・版画における技法・構想について、分析、論述する。	01B9771と同一。
01EB202	西洋美術技法演習	2	6.0	1・2	通年	木4,5	6A410-2, 6A413	内藤 定壽, 仏山輝美, 福満 正志郎, 星 美加	制作へのプロセスとして考えられる技法について、複数教員による技法指導、研究実験を行い、洋画の技法に関する理解と習熟を図る。	
01EB801	洋画制作A-1	3	1.5	1	春ABC	月4,5	6A410-1, 6A413	内藤 定壽	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に素材や技法について、個別に指導する。学外で作品発表を行う。	特になし
01EB802	洋画制作A-2	3	1.5	1	秋ABC	月4,5	6A410-1, 6A413	内藤 定壽	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に素材や技法について、個別に指導する。学外で作品発表を行う。	洋画制作A-1を履修済みのこと。
01EB803	洋画制作B-1	3	1.5	1	春ABC	火2,3	6A410-1, 6A413	仏山 輝美	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に色彩について、個別に指導する。	
01EB804	洋画制作B-2	3	1.5	1	秋ABC	火2,3	6A410-1, 6A413	仏山 輝美	人体および選択されたモチーフによる絵画制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に色彩について、個別に指導する。	洋画制作B-2を履修済みのこと。
01EB805	洋画制作C-1	3	1.5	1	春ABC	木2,3	6A410-1, 6A413	福満 正志郎	人体及び選択されたモチーフによる油絵制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に制作上の構想について、個別に指導する。	
01EB806	洋画制作C-2	3	1.5	1	秋ABC	木2,3	6A410-1, 6A413	福満 正志郎	人体及び選択されたモチーフによる油絵制作を行い、作家としての表現を確立するために深く追求する。特に制作上の構想について、個別に指導する。	洋画制作C-1を履修済みのこと。
01EB807	洋画制作D-1	3	1.5	1	春ABC	金2,3	6A410-1, 6A413	星 美加	人体および選択されたモチーフによる油絵制作を行う。特に形態について、個別に指導する。秋学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の練磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。	
01EB808	洋画制作D-2	3	1.5	1	秋ABC	金2,3	6A410-1, 6A413	星 美加	人体および選択されたモチーフによる油絵制作を行う。特に形態について、個別に指導する。	洋画制作D-1を履修済みのこと。
01EB809	洋画特別制作A-1	3	1.5	2	春ABC	月2,3	6B404, 6B405	内藤 定壽	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、テーマに沿って素材・技法について最も適したものを選択する。学外で作品発表を行う。	洋画制作を履修済みであること
01EB810	洋画特別制作A-2	3	1.5	2	秋ABC	月2,3	6B404, 6B405	内藤 定壽	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、テーマに沿って素材・技法について最も適したものを選択する。学外で作品発表を行う。	洋画特別制作A-1を履修済みのこと。
01EB811	洋画特別制作B-1	3	1.5	2	春ABC	火2,3	6B404, 6B405	星 美加	秋学期開催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の練磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。修了研究にむけて、テーマの設定、技法研究を中心に継続的に制作をおこなう。より高度な絵画技術を習得し、独自の構想力、表現力を養えるよう指導するとともに、修了後も作家として制作活動に携わるための指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB812	洋画特別制作B-2	3	1.5	2	秋ABC	火2,3	6B404, 6B405	星 美加	本学期間催の学外における作品展示(つくば美術館)にむけて、作品資料等の収集、技法研究、構想の練磨等、同時並行的におこないながら、独自の表現を目指す。 修了研究にむけて、テーマの設定、技法研究を中心に課題制作を継続する。 修了研究(作品及び研究報告書)の作成。より高度な絵画技術を習得し、独自の構想力、表現力を養えるよう指導するとともに、修了後も作家として制作活動に携わるための指導を行う。	洋画特別制作B-1を履修済みのこと。
01EB813	洋画特別制作C-1	3	1.5	2	春ABC	木4,5	6B404, 6B405	福満 正志郎	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、構想についてテーマを良く表現するためにどのようにイメージを展開するのかを追求する。	
01EB814	洋画特別制作C-2	3	1.5	2	秋ABC	木4,5	6B404, 6B405	福満 正志郎	個別に設定されたテーマによってモチーフの選択を行い、構想についてテーマを良く表現するためにどのようにイメージを展開するのかを追求する。	洋画特別制作C-1を履修済みのこと。
01EB815	洋画特別制作D-1	3	1.5	2	春ABC	金4,5	6B404, 6B405	仏山 輝美	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、色彩についてテーマをより良く表現する計画と手段を追求する。	
01EB816	洋画特別制作D-2	3	1.5	2	秋ABC	金4,5	6B404, 6B405	仏山 輝美	個別に設定されたテーマによってモチーフを選択し、色彩についてテーマをより良く表現する計画と手段を追求する。	洋画特別制作D-1を履修済みのこと。
01EB224	洋画野外風景実習	3	1.0	1・2	通年	集中		内藤 定壽, 福満 正志郎, 仏山 輝美	授業の到達目標及びテーマ:屋外において自然風景の写生に取り組み、風景画制作の実践のための手立てと描画方法を習得して、受講者個々の描写力・表現力を高める。 授業の概要:自然に学ぶ態度を培い、観察力や洞察力に基づく描写力を高めて、独創的な絵画表現のための礎となるよう風景画制作における受講者個々の表現内容および描画方法について助言・指導を行う。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 風景画制作1 構図、(3) 風景画制作2 明暗、(4) 風景画制作3 色彩、(5) 風景画制作4 形態、量感、質感、(6) 風景画制作5 空間、奥行き、(7) 風景画制作6 マチエール、テクスチャ、(8) 風景画制作7 筆致、(9) 風景画制作8 技法・材料と表現、(10) 風景画制作9 作品講評、作品展示	OATTC41と同一。
01EB211	洋画領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		内藤 定壽, 仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加	各自の設定したテーマについて、個別に洋画の演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	
01EB303	洋画領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		内藤 定壽, 仏山 輝美, 田島 直樹, 福満 正志郎, 星 美加	各自の設定したテーマに基づき、洋画の修了研究の指導を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応
01EB831	版画制作A-1	3	1.5	1・2	春ABC	木2,3	6A105, 工房 C204	田島 直樹	版画の技法研究を実際の制作を通して行い、その特徴、性質を把握し、今後の作品制作に活かす。また、指導者養成の目的を含め、技術修得に努める。	
01EB832	版画制作A-2	3	1.5	1・2	秋ABC	木2,3	6A105, 工房 C204	田島 直樹	版画の技法研究を実際の制作を通して行い、その特徴、性質を把握し、今後の作品制作に活かす。また、指導者養成の目的を含め、技術修得に努める。	版画制作A-1を履修済みのこと。
01EB833	版画制作B-1	3	1.5	1・2	春ABC	金2,3	6A105, 工房 C204	田島 直樹	専門とする版種に関する作家、作品、技法について調査、研究、及び実験制作を通して自己の制作に活かす。	
01EB834	版画制作B-2	1	1.5	1・2	秋ABC	金2,3	6A105, 工房 C204	田島 直樹	専門とする版種に関する作家、作品、技法について調査、研究、及び実験制作を通して自己の制作に活かす。	版画制作B-1を履修済みのこと。
01EB835	版画特別制作-1	3	1.5	2	夏季休業中	集中	6A105, 工房 C204	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、版画の制作実験研究を試みる。学外で作品の発表を行う。	
01EB836	版画特別制作-2	3	1.5	2	秋ABC	木4,5	6A105, 工房 C204	田島 直樹	個別に設定されたテーマによって版種を選び、版画の制作実験研究を試みる。学外で作品の発表を行う。	版画特別制作-1を履修済みのこと。
01EB225	平版演習	2	4.0	1・2	通年	随時		田島 直樹	アルミ板を使用した平版のあらゆる技法について演習し、表現の深まりを期する。	西暦偶数年度開講。
01EB226	版画領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		田島 直樹	各自の設定したテーマについて、個別に版画の演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	

専門科目〔芸術学領域群〕【日本画領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB241	日本画表現技法・材料特講	1	2.0	1	通年	随時	アート&デザイン実習室1	太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	日本絵画の古典作品を鑑賞し、日本画表現における諸技法および諸材料について、制作者の眼と感性で読み取る。	
01EB841	日本美術技法演習-1	2	1.5	1・2	春BC 夏季休業中	木2 集中	アート&デザイン実習室1	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にもなる種々の技法について演習を行う。	
01EB842	日本美術技法演習-2	2	1.5	1・2	秋ABC	木2	アート&デザイン実習室1	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にもなる種々の技法について演習を行う。	日本美術技法演習-1を履修済であること。
01EB843	日本美術特別技法演習-1	2	1.5	1・2	春BC 夏季休業中	木3 集中	アート&デザイン実習室1	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にもなる種々の技法について、さらに理解を深め、技術を修得する。	01B9777と同一。
01EB844	日本美術特別技法演習-2	2	1.5	1・2	秋ABC	木3	アート&デザイン実習室1	山本 浩之	古典、中世、近代の作品・模写を通して、専門的素材の用法及び材料使用にもなる種々の技法について、さらに理解を深め、技術を修得する。	日本美術特別技法演習-1を履修済であること。 01B9778と同一。
01EB845	日本画制作A-1	3	1.5	1	春BC 夏季休業中	月4,5 集中	5C306	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、人体モデルに対処しながら、自己表現の習熟を目的とする創作的内容をもった制作研究を行う。	
01EB846	日本画制作A-2	3	1.5	1	秋ABC	月4,5	5C306	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、人体モデルに対処しながら、自己表現の習熟を目的とする創作的内容をもった制作研究を行う。	日本画制作A-1を履修済であること。
01EB847	日本画制作B-1	3	1.5	1	春BC 夏季休業中	火2,3 集中	5C306	山本 浩之	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、日本画の様式に沿った制作研究を行う。	
01EB848	日本画制作B-2	3	1.5	1	秋ABC	火2,3	5C306	山本 浩之	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、日本画の様式に沿った制作研究を行う。	日本画制作B-1を履修済であること。
01EB849	日本画制作C-1	3	1.5	1	春BC 夏季休業中	木4,5 集中	5C306	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、創作的内容をもった技術研究を行う。	5C306
01EB850	日本画制作C-2	3	1.5	1	秋ABC	木4,5	5C306	程塚 敏明	専門的な技術を基礎とし、与えられたテーマに対処しながら、創作的内容をもった技術研究を行う。	日本画制作C-1を履修済であること。
01EB851	日本画制作D-1	3	1.5	1	春BC 夏季休業中	金2,3 集中	5C306	太田 圭	日本画制作を通し、新しい表現の可能性を追求しながら制作研究を行い、将来への展望をはかる。	
01EB852	日本画制作D-2	3	1.5	1	秋ABC	金2,3	5C306	太田 圭	日本画制作を通し、新しい表現の可能性を追求しながら制作研究を行い、将来への展望をはかる。	日本画制作D-1を履修済であること。
01EB853	日本画特別制作A-1	3	1.5	2	春BC 夏季休業中	月2,3 集中	5C306	太田 圭	個別にテーマを設定し、日本画による自己表現の確立をはかり、学外で作品の発表を行う。	
01EB854	日本画特別制作A-2	3	1.5	2	秋ABC	月2,3	5C306	太田 圭	個別にテーマを設定し、日本画による自己表現の確立をはかり、学外で作品の発表を行う。	日本画特別制作A-1を履修済であること。
01EB855	日本画特別制作B-1	3	1.5	2	春BC 夏季休業中	火4,5 集中	5C306	山本 浩之	基礎技法をマスターし、更に新しい表現技術の研究と自己のテーマをより広く発展させる為に、積極的に内部の開発に取り組む。	
01EB856	日本画特別制作B-2	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	5C306	山本 浩之	基礎技法をマスターし、更に新しい表現技術の研究と自己のテーマをより広く発展させる為に、積極的に内部の開発に取り組む。	日本画特別制作B-1を履修済であること。
01EB857	日本画特別制作C-1	3	1.5	2	春BC 夏季休業中	木2,3 集中	5C306	程塚 敏明	自己の内部表現の為の技法と材料の必然性や絵画思想、問題意識の理論的発展を高める。	
01EB858	日本画特別制作C-2	3	1.5	2	秋ABC	木2,3	5C306	程塚 敏明	自己の内部表現の為の技法と材料の必然性や絵画思想、問題意識の理論的発展を高める。	日本画特別制作C-1を履修済であること。
01EB859	日本画特別制作D-1	3	1.5	2	春BC 夏季休業中	金4,5 集中	5C306	太田 圭	日本画による表現の多様性をふまえて各自のテーマを設定し、制作研究を行うと同時に客観的な視野に立ち、自分の作品の分析研究を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB860	日本画特別制作D-2	3	1.5	2	秋ABC	金4,5	5C306	太田 圭	日本画による表現の多様性をふまえて各自のテーマを設定し、制作研究を行うと同時に客観的な視野に立ち、自分の作品の分析研究を行う。	日本画特別制作D-1を履修済であること。
01EB251	日本画野外風景実習	3	1.0	1・2	通年	集中		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	授業の到達目標及びテーマ: 特定した野外において、各自がモチーフとしての風景を選択し、数日間写生を行うことにより移ろい変化していく対象を捉える描写力と持久力を養い、風景表現の技術を高める。 授業の概要: 学外実習として、約一週間、特定の写生地に滞在して、鉛筆写生を通して風景表現の実習を行う。 授業計画: (1) 事前指導(オリエンテーション)、(2)~(9) 実地指導、(10) 事後指導(写生から日本画による制作への展開)	OATTE31と同一。
01EB252	日本画領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	個々の研究領域に応じたテーマに則り、表現における理論と実践を試み、作品制作を行う。研究倫理についても理解を深める。	
01EB304	日本画領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	各自の設定したテーマに基づき、日本画の修了研究を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【芸術学領域群】【彫塑領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB871	彫塑技法論特講-1	1	1.0	1・2					彫塑の表現方法について、歴史的、理論的に分析を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。原則として「彫塑技法論特講-2」とあわせて履修すること。2020年度開講せず。
01EB872	彫塑技法論特講-2	1	1.0	1・2					彫塑の表現方法について、歴史的、理論的に分析を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。彫塑技法論特講-1を履修した者。2020年度開講せず。
01EB263	彫塑学外演習	2	1.0	1・2	通年	集中		宮坂 慎司, 大原 央聡	授業の到達目標及びテーマ: 現存する歴史的な作品や現代彫刻作品を実地に訪ねて鑑賞・研究することにより、彫刻芸術に係る知識や技法等を集積し多様な展開にも対応できるようにする。 授業の概要: 各自のテーマに基づき、実地研修を行う。 授業計画: (1) 事前指導(オリエンテーション)、(2) 事前指導(演習場所、日程の検討)、(3) 事前指導(演習内容の検討)、(4) 事前指導(資料作成)、(5) 実地指導(実見場所について)、(6) 実地指導(歴史的・美術史的な背景について)、(7) 実地指導(各自の研究対象テーマに基づく発表会 中間)、(8) 実地指導(調査対象と研究テーマについて)、(9) 実地指導(各自の研究対象テーマに基づく発表会 まとめ)、(10) 事後指導(まとめ、レポート作成)	彫塑領域の学生に限る。OATTF01と同一。
01EB875	塑造制作A-1	3	1.5	1・2	春C・夏季休業中	金2,3 集中	6A102, 6A103	宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。原則として「塑造制作A-2」とあわせて履修すること。
01EB876	塑造制作A-2	3	1.5	1・2	秋ABC	金2,3	6A102, 6A103	宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。塑造制作A-1を履修した者。
01EB877	塑造制作B-1	3	1.5	1・2	春C・夏季休業中	木2,3 集中	6A102, 6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。原則として「塑造制作B-2」とあわせて履修すること。
01EB878	塑造制作B-2	3	1.5	1・2	秋ABC	木2,3	6A102, 6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司	裸婦モデルによる塑造制作を行い、立体表現の感覚を養う。	彫塑領域の学生に限る。塑造制作B-1を履修した者。
01EB879	彫刻制作A-1	3	1.5	1・2	春C・夏季休業中	木5,6 集中	6A114, 6A115, 工房 C109	大原 央聡	クス材等の丸太や木材を用いて木彫制作を行う。	原則として「彫刻制作A-2」とあわせて履修すること。原則として彫塑領域の学生に限る。
01EB880	彫刻制作A-2	3	1.5	1・2	秋ABC	木5,6	6A114, 6A115, 工房 C109	大原 央聡	クス材等の丸太や木材を用いて木彫制作を行う。	彫塑領域の学生に限る。原則として彫刻制作A-1を履修していること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB881	彫刻制作B-1	3	1.5	1・2	春C・夏季休業中	金4,5集中	工房C110	宮坂 慎司, 大原 央聡	石が保有する彫刻的な特質を活かして、創造的な立体表現力を高める。	原則として彫塑領域の学生に限る。原則として「彫刻制作B-2」とあわせて履修すること。
01EB882	彫刻制作B-2	3	1.5	1・2	秋ABC	金4,5集中	工房C110	大原 央聡, 宮坂 慎司	石が保有する彫刻的な特質を活かして、創造的な立体表現力を高める。	原則として彫塑領域の学生に限る。彫刻制作B-1を履修した者。
01EB883	金属彫刻制作-1	3	1.5	1・2	春C・夏季休業中	月2,3集中	6A104	大原 央聡, 宮坂 慎司	鋳造・溶接等の金属処理を駆使して、実験的で創造的な彫塑の制作研究を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。原則として「金属彫刻制作-2」とあわせて履修すること。
01EB884	金属彫刻制作-2	3	1.5	1・2	秋ABC	月2,3	6A104	大原 央聡, 宮坂 慎司	鋳造・溶接等の金属処理を駆使して、実験的で創造的な彫塑の制作研究を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。金属彫刻制作-1を履修した者。
01EB885	テラコッタ制作	3	1.5	1・2	春C・夏季休業中	火4,5集中	5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	独自の素材と技法を有するテラコッタ(陶造形)技法を用いて立体造形を行う。	原則として彫塑領域の学生に限る。01B9782と同一。
01EB270	彫塑特別制作A	3	1.0	2	春C・夏季休業中	月2,3集中	6A104	宮坂 慎司, 大原 央聡	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と素材に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術における素材とフォルムの関係を探究する。彫塑特別制作B'Dと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。OATF51と同一。
01EB271	彫塑特別制作B	3	1.0	2	春C・夏季休業中	月4,5集中	6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と技法に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術における技法と素材の関係を探究する。彫塑特別制作A,C,Dと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。OATF52と同一。
01EB272	彫塑特別制作C	3	1.0	2	春C・夏季休業中	水2,3集中	6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得とフォルムに関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術におけるフォルムと空間の関係を探究する。彫塑特別制作A,B,Dと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心棒組み、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。OATF53と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB273	彫塑特別制作D	3	1.0	2	春C・夏季休業中	金4,5集中	6A103	宮坂 慎司, 大原 央聡	授業の到達目標及びテーマ:制作実践を通して、彫塑芸術に関わる高度な表現方法の習得と空間生に関わる造形理論の構築を目指す。各自でテーマを設定し、自己の表現を具現化する応用力を身につける。 授業の概要:実践的な制作研究を通して、彫塑芸術における空間性について探究する。彫塑特別制作A~Cと連動して、彫塑表現の多様性を考察する。 授業計画:(1) オリエンテーション、(2) 各自の研究テーマ設定、(3) 素材・技法の検討、(4) デッサン・エスキースの検討、(5)~(9) 各自設定したテーマによる制作(実際の素材に対して、心構え、素材への当てはめ)、(10) 講評・評価を行う(研究成果の反省と展望)	彫塑領域の学生に限る。 OATTF54と同一。
01EB274	彫塑特別制作E	3	1.0	2	春C・夏季休業中	木4,5集中	6A103, 他	大原 央聡	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。
01EB275	彫塑特別制作F	3	1.0	2	春C・夏季休業中	金2,3集中	工房 C110, 他	大原 央聡, 宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。
01EB276	彫塑特別制作G	3	1.0	2	春C・夏季休業中	木2,3集中	6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司	彫塑表現の多様性をふまえ、各自でテーマを選択し、高度な表現技法と創作的内容をもった制作研究を行う。	彫塑領域の学生に限る。
01EB277	彫塑領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時	6A103, 6A104, 6A114, 他	大原 央聡, 宮坂 慎司	各自の設定したテーマに基づき、修了研究に向けての彫塑の演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	彫塑領域の学生に限る。
01EB305	彫塑領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司	各自の設定したテーマに基づき、彫塑の修了研究を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応。 彫塑領域の学生に限る。

専門科目【芸術学領域群】【書領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB282	行・草漢字制作	3	3.0	1・2					行書・草書における代表的な古典の臨書を通して、当該書体の技法に習熟するとともに、做書を中心とした創作を試みる。	西暦奇数年度開講。 01B9791と同一。
01EB281	隸・楷漢字制作	3	3.0	1・2	通年	木4,5	6A403	菅野 智明	隸書・楷書における代表的な古典の臨書を通して、当該書体の技法に習熟するとともに、做書を中心とした創作を試みる。	西暦偶数年度開講。 01B9786と同一。
01EB283	古文字書法A	3	3.0	1・2					中国古代の文字資料を書法の観点から整理し、いくつかの遺品を実地に模写・臨書することを通して、その分析を深め、漢字書法習得のための一助とする。	西暦奇数年度開講。 01B9796と同一。
01EB284	古文字書法B	3	3.0	1・2	通年	火5,6	6A405	尾川 明穂	中国古代の文字資料を書法の観点から整理し、いくつかの遺品を実地に模写・臨書することを通して、その分析を深め、漢字書法習得のための一助とする。	西暦偶数年度開講。 01B9797と同一。
01EB285	仮名制作A	3	3.0	1・2					古筆を基調とした制作方法を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。 01B9801と同一。
01EB286	仮名制作B	3	3.0	1・2	通年	金1,2	6A404	森岡 隆	古筆を基調とした制作方法を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講。 01B9806と同一。
01EB891	書学外演習A	2	1.5	1・2					博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象 西暦奇数年度開講。 01B9812と同一。
01EB892	書学外演習B	2	1.5	1・2	通年	随時		森岡 隆, 菅野 智明, 尾川 明穂	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書領域対象 西暦偶数年度開講。 01B9813と同一。
01EB288	書領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		森岡 隆, 菅野 智明, 尾川 明穂	各自の設定したテーマについて、個別に演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	
01EB306	書領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		森岡 隆, 菅野 智明, 尾川 明穂	各自の設定したテーマに基づき、書の修了研究を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【構成領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB512	色彩計画論特講	1	1.5	1・2	春ABC	水2	6A203	山本 早里	デザイン分野における色彩計画には、感性だけでなく科学的な知見に基づく客観性が求められる。本講義では色彩計画を行うための諸理論を講ずる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB513	色彩計画演習	2	1.5	1・2	秋ABC	水2	6A203	山本 早里	デザイン分野における色彩計画に主眼をおいた演習。調査・設計・評価などを含めた色彩計画の実践を通じ、色彩計画の高度・専門的な知識および実践力を習得することを目標とする。	
01EB514	平面・立体構成論特講	1	1.0	1・2	春AB	木5	6A204	上浦 佑太	色・形・素材等の基本要素に着目し、様々な分野の造形作品を構成学的視点から読み解く。	
01EB515	平面・立体構成演習A	2	2.0	1・2	秋ABC	木5集中	6A204	上浦 佑太	設定されたテーマに沿って作品を制作する。先行事例の考察を踏まえて実験的なアプローチで制作に臨むことで、表現を開拓する姿勢を養う。	西暦偶数年度開講。
01EB516	平面・立体構成演習B	2	2.0	1・2					設定されたテーマに沿って作品を制作する。先行事例の考察を踏まえて実験的なアプローチで制作に臨むことで、表現を開拓する姿勢を養う。	西暦奇数年度開講。2020年度開講せず。
01EB507	構成領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時	6A203	山本 早里, 大友 邦子, 上浦 佑太	各自のテーマに基づき、修了研究に向けた演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	
01EB701	構成領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時	6A203	山本 早里, 大友 邦子, 上浦 佑太	各自のテーマに基づき修了研究を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【総合造形領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB528	現代アート表現論	1	1.5	1・2	春ABC	火5	5C205	小野 裕子	現代アートの知見を踏まえて、その動向を調査する。多領域の学生の意見を交えながら自身の研究と比較して、各自の研究に反映させていく。	
01EB529	現代アート表現演習	2	1.5	1・2	秋ABC	火5	5C205	小野 裕子	現代アートの動向を調査し、各自の研究を深め、実験制作を行う。	教室:5C205, 6B105
01EB530	メディア表現論	1	1.5	1・2	春ABC	火4	5C205	村上 史明	現代のメディア技術について調査し、ディスカッションを行う。	
01EB531	メディア表現演習	2	1.5	1・2	秋ABC	火4	5C205	村上 史明	メディアアートに関する制作活動の裏づけとなる資料を調査・整理・考察するとともに、各自が設定した課題に基づく作品の制作を行う。	
01EB532	現代美術論	1	1.5	1・2	秋ABC	火2	5C402	國安 孝昌	総合造形の視点から現代美術論を論じる。テキストの講義とレポート添削を行う。	01B9822と同一。
01EB533	現代美術演習	2	1.5	1・2	秋ABC	集中	5C402	國安 孝昌	総合造形の視点から現代美術論を考えた討論を行い、一つの展示会を立ち上げる。	
01EB527	総合造形領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	総合造形の視点から討論を行い、個展を計画、準備し、実施する。研究倫理についても理解を深める。	
01EB702	総合造形領域特別研究	2	3.0	2	通年	火6	5C205	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	修了制作・修士論文の作成を中心とした、個々の研究指導を行う。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【クラフト領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB553	陶磁造形演習I	2	1.5	1・2	春C 夏季休業中	水1集中		齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、造形作家、研究者、教育者等養成の為、土(粘土)から陶磁へ変化するシステムの理解と応用をテーマとして、実材主義的造形の立場から作品の理論づけと作品制作を行う。	授業時間外に窯焼成管理の時間等の自己管理が必須である。01B9833と同一。芸術系棟B-138齋藤敏寿研究室にて授業を行う。
01EB554	陶磁造形演習II	2	1.5	1・2	秋ABC	水1		齋藤 敏寿	作陶家、工芸家、造形作家、研究者、教育者等養成の為、陶磁による造形に関して理論と制作から実践的に研究し、高度な表現を通して修得させる。	授業時間外に窯焼成管理の時間等の自己管理が必須である。01B9833と同一。芸術系棟B-138齋藤敏寿研究室にて授業を行う。
01EB555	木材造形演習I	2	1.5	1・2	春C 夏季休業中	集中	工房 C101	宮原 克人	樹木から木へ。木材の特性を生かした造形表現を検討する。	
01EB556	木材造形演習II	2	1.5	1・2	秋ABC	水2	工房 C101	宮原 克人	各自テーマを設定し、具体的な作品制作を通して研究を行う。	
01EB559	ガラス造形演習I	2	1.5	1・2	春C 夏季休業中	随時		鄭 然暎	ガラスを素材にした作品の特徴について調査した結果を照らし合わせ実験制作を行う。	学群においてガラスの授業を履修済みのこと。他大学からの入学者等に関しては条件付きで受講可。授業はB309にて行う。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB560	ガラス造形演習II	2	1.5	1・2	春C 夏季休業中	随時	工房C102	鄭 然暲	各自扱う素材にガラス素材の特徴を掛け合わせ作品を制作し、異素材について探求する。	ガラス造形演習Iと合わせて履修すること。
01EB548	漆芸演習	2	2.0	1・2	春C 夏季休業中	集中	6B106	宮原 克人	授業の到達目標及びテーマ:漆芸の技法・知識を理解する。課題に基づき漆芸の特性を生かした造形表現を理解する。 授業の概要:漆芸の基礎的な技術(乾漆、蒔絵、螺鈿)を習得し、各自の表現を試みる。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 素地について、(3) 素地の制作方法について、(4) 漆について、(5) 漆の取り扱い方法について、(6) 素地制作(木)、(7) 素地制作(粘度)、(8) 様々な漆芸技法について、(9) 漆芸制作(乾漆技法:型作成)、(10) 漆芸制作(乾漆技法:型仕上げ)、(11) 漆芸制作(乾漆技法:布着せ)、(12) 漆芸制作(乾漆技法:下地)、(13) 漆芸制作(乾漆技法:きゅう漆)、(14) 漆芸制作(呂色上げ技法)、(15) 漆芸制作(塗り立て技法)、(16) 漆芸制作(加飾方法:沈金)、(17) 漆芸制作(加飾方法:蒔絵)、(18) 漆芸制作(加飾方法:螺鈿)、(19) 発表、(20) まとめ	OATTK51と同一。
01EB547	クラフト領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時	芸術B521	齋藤 敏寿、宮原 克人、鄭 然暲	クラフト領域修了研究の推進の為、学生が設定したテーマに関して全体及び個別に指導する。研究倫理についても理解を深める。	クラフト領域授業成果展等の企画、運営を行う。
01EB703	クラフト領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時	芸術B521	齋藤 敏寿、宮原 克人、鄭 然暲	クラフト領域修了研究をめざし、学生の自主的テーマについて全体的及び個別的に指導する。研究倫理についても理解を深める。	クラフト領域授業成果展等の企画、運営を行う。14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【ビジュアルデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB561	視覚伝達設計論特講	1	1.0	1・2	秋AB	木2	6A208	原 忠信	視覚伝達デザインにおける遊戯性についてとりあげ、ワークショップ、ゲームなど参加型の授業を通じて課題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力を養う。遊びとデザインを主題に、関連する作家、方法、ケーススタディについての概説、およびワークショップを行い、プレゼンテーションでは履修生が考案したワークショップやゲームを実施する。 授業計画:(1) [オリエンテーション]授業全体の説明、(2) プレインストーミングとゲームストーミング、(3) 子供の遊び、(4) 大人の遊び、(5) 経験設計の概念、(6) ユーザーエクスペリエンスとサービスデザイン、(7) 遊び体験のデザイン、(8) ワークショップ、ゲーム発表(グループ1)、(9) ワークショップ、ゲーム発表(グループ2)、(10) ワークショップ、ゲーム発表(グループ3)	OATTL01と同一。
01EB569	視覚伝達設計演習A	2	1.0	1・2	春AB	木2	6A208-1	原 忠信	プラグマティックなデザインの方法を実践的な制作課題を通じて学ぶ。	
01EB570	視覚伝達設計演習B	2	1.0	1・2	春C	木1,2	6A208-1	原 忠信	プラグマティックなデザインの方法を実践的な制作課題を通じて学ぶ。	
01EB575	グラフィックデザイン論特講	1	1.0	1・2	春AB	木4	5C504	田中 佐代子	各受講者の研究テーマに基づく、ビジュアルデザインの発展的な考察・立案を主題とし、ビジュアル・プレゼンテーションデータとビジュアル年表の制作を行う。	01B9842と同一。
01EB576	グラフィックデザイン演習	2	1.0	1・2	春AB	木4	5C514	田中 佐代子	各受講者の研究テーマに基づく、ビジュアルデザインの発展的な考察・立案を主題とし、専門的で高度なビジュアルデザインの考察力を身につける。 授業計画:(1) [オリエンテーション]授業全体の説明、(2) [課題1]書体・レイアウトに関する講義とミニレポートの提出、(3) [課題1]名刺(タテ型)課題の提出と講評、(4) [課題1]名刺(ヨコ型)課題の提出と講評、(5) [課題2]研究発表用スライドのビジュアルデザインに関する講義、(6) [課題2]グループAのプレゼンテーション、ディスカッション、講評、(7) [課題2]グループBのプレゼンテーション、ディスカッション、講評、(8) [課題2]グループCのプレゼンテーション、ディスカッション、講評、(9) [課題3]アイデアスケッチのチェック、(10) [課題3]途中経過のチェック、(11) [課題3]完成作品の提出・プレゼンテーション、講評、(12) [課題4]収集資料の確認、(13) [課題4]アイデアスケッチのチェック	OATTL21と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB577	画像表現論特講	1	2.0	1・2	春AB	金5.6	6A203	山本 美希	デザイン、美術、サブカルチュアなどを横断的に探索しつつ、画像表現(絵による表現)の特質、意義、可能性について理解を深めること。 授業計画:(1)[オリエンテーション]授業全体の説明、(2)[テーマ1]アートトーク1、(3)[テーマ2]「物語」に関する調査1、(4)[テーマ2]物語構造について、(5)[テーマ3]言葉のない絵本精読『アンジュール』、(6)[テーマ3]言葉のない絵本精読『アライバル』1、(7)[テーマ3]言葉のない絵本精読『アライバル』2、(8)[テーマ3]言葉のない絵本精読「赤ずきん」絵本、(9)[テーマ4]多種多様な表現手法、(10)[テーマ5]マンガ文献精読、(11)[テーマ5]マンガ文献精読2、(12)[テーマ6]マンガの文体練習、(13)[テーマ7]物語表現考察1、(14)[テーマ7]物語表現考察2、(15)7つのテーマから一つ選び、レポート提出	OATL31と同一。
01EB578	画像表現演習	2	1.0	1・2	秋AB	火3	6A208	山本 美希	デザイン、美術、サブカルチュア等多様に広がる画像表現(絵による表現)について、制作を通してその可能性を探る。受講者の研究テーマに応じた制作を行い、幅広い画像表現について理解を深める。 授業計画:(1)[オリエンテーション]授業全体の説明、(2)[課題1]小説のマンガ化、(3)[課題1]講評、(4)[課題2]画像による物語表現、(5)[課題2]プランチェック、(6)[課題2]絵コンテチェック、(7)[課題2]ダミーチェック、(8)[課題2]進捗状況発表、(9)[課題2]進捗状況発表、(10)[課題2]講評	OATL41と同一。
01EB579	フォトメディア論特講	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C302	MCLEOD Roderick	フォトメディアの現代的な問題を探究し、研究のためにカメラを使用する際の特徴、意義、可能性について検討します。 Exploring contemporary issues in photomedia, we will examine the characteristics, significance and possibilities of using cameras for research.	英語で授業。
01EB580	フォトメディア演習A	2	1.0	1・2	夏季休業中	集中	5C205	MCLEOD Roderick	フォトメディア(1826-1899)の歴史について、日光写真、カメラオプスキュラ、ピンホールカメラなどの実用的な作業を通して学びます。 We will learn about the history of photomedia (1826-1899) through practical tasks, such as making sunprints, camera obscuras, pinhole cameras.	英語で授業。
01EB581	フォトメディア演習B	2	1.0	1・2	秋AB	木5	5C205	MCLEOD Roderick	フォトメディア(1900-現代)の歴史について、ポラロイド、フィルム写真、デジタルメディアなどの実用的な作業を通して学びます。 We will learn about the history of photomedia (1900-today) through practical tasks, such as Polaroid, film photography, digital media.	英語で授業。
01EB568	ビジュアル・コミュニケーション演習	2	1.0	1・2					実践的なビジュアル・コミュニケーションの発想力、制作力、評価方法を身につける。 学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたビジュアル・コミュニケーションの発想、制作、評価などについて学ぶ。 授業計画:(1)[オリエンテーション]授業全体の説明、(2)[課題1]「ビジュアル・コミュニケーションの発想力」に関する課題説明、(3)[課題1]中間発表、(4)[課題1]発表及び講評、(5)[課題2]「ビジュアル・コミュニケーションの制作力」に関する課題説明、(6)[課題2]中間発表、(7)[課題2]発表及び講評、(8)[課題3]「ビジュアル・コミュニケーションの評価方法」に関する課題説明、(9)[課題3]中間発表、(10)[課題3]発表及び講評	西暦奇数年度開講。 OATL51と同一。 2020年度開講せず。
01EB567	ビジュアルデザイン領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		田中 佐代子, 原忠信, 山本 美希, MCLEOD Roderick	学生の自主的なテーマについて全体的および個別に研究指導する。研究倫理についても理解を深める。	
01EB704	ビジュアルデザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		田中 佐代子, 原忠信, 山本 美希, MCLEOD Roderick	修士研究へ向けて、全体的および個別に研究指導する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【プロダクトデザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB612	生産デザイン論特講	1	2.0	1・2	春0夏季休業中	集中		内山 俊朗	デザインに関わる仕事をしていると「なぜそのようなユニークなものをつくることができるのか?」とクライアントに尋ねられることがよくある。また「自分には新しいものをつくる才能がなく創造力に自信がない」とデザインを学ぶ学生から相談を受けることもよくある。このような人たちと話をすると、デザインには生まれ持った才能が必要で、創造力は鍛えることができないと信じているケースが多いことに気がつく。プロダクトデザイン、インタラクションデザインの制作プロセスを通して、それらにはポイントやコツがあることについて解説をする。	教室:総合研究棟D211 西暦偶数年度開講。 OATU106と同一。 実務経験教員
01EB601	デザイン解析論特講	1	2.0	1・2	秋AB	月4.5	芸術B317	小山 慎一	美しさ、見やすさ、誘目性など、デザインの問題の多くは視覚的な問題である。本科目では、講義を通じて、形態認知、色彩認知、審美、視覚的注意など、視覚の基礎知識を習得する。また、パッケージデザイン、プロダクトパターン、照明、建築物外観等、心理学的手法が実際の視覚情報デザインに応用された事例について、講義とディスカッションを行なう。さらに、プロジェクト型の学習を通じて実際に実験・調査を行い、心理学的な実験・調査手法を習得する。	2020年度限り。
01EB631	デザインイノベーション論特講	1	2.0	1・2	秋AB	金1.2	5C402	山田 博之	デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネジメントの視点からデザインを行うための視点と技術を養う。また、ユーザーエクスペリエンスの向上のための具体的なワークショップと市場調査、それらのプレゼンテーションを行い、ユーザーにとっての価値とは何かについてのディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。 OATU107と同一。 実務経験教員
01EB706	プロダクトデザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之	修士論文をまとめる基礎的研究能力を育成する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【環境デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB615	環境デザイン論特講	1	2.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:環境デザインの多様な課題と総合的な設計論について理解する。 授業の概要:公共空間、商業・業務施設、住宅地における総合的なサイトプランニング手法とプレイスメイキング手法を論述。 授業計画:(1) 街路の課題と滞留環境のデザイン手法、(2) 公園の課題と多面的利用環境のデザイン手法、(3) 公共施設の課題と多面的利用環境のデザイン手法、(4) 商業施設の課題と公的利用環境のデザイン手法、(5) 業務施設の課題と創造的な仕事環境のデザイン手法、(6) 公的施設の課題と創造的な場づくりの手法、(7) 住宅団地の課題と共用環境のデザイン手法、(8) 住宅の課題とインテリア環境のデザイン手法、(9) プレイスメイキングの実施と枠組み環境のデザイン手法、(10) 現代の環境デザインの多様性について	西暦奇数年度開講。 OATTP01と同一。 2020年度開講せず。
01EB619	建築・都市パッシブデザイン論特講	1	2.0	1・2					授業の到達目標及びテーマ:「自然環境と調和した建築・都市デザイン」の実現に向け、そのための基礎理論と手法を理解し、習得する。 授業の概要:建築及び都市におけるパッシブデザインの手法・原理・課題について講述する。 授業計画:(1) ガイダンス、(2) 屋根のデザイン、(3) 壁のデザイン、(4) 床の断熱・蓄熱、(5) 開口部と日射のコントロール、(6) 昼光の有効利用、(7) 換気と通風、(8) 地形の利用、(9) 樹木によるコントロール、(10) まとめ	西暦奇数年度開講。 OATTP11と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB613	都市・地域設計論特講	1	2.0	1・2	春AB	木4.5	5C301	野中 勝利	授業の到達目標及びテーマ:現在の都市が抱える諸問題を実態的に把握し、都市づくりやまちづくりにおける計画や設計について、その果たすべき役割や責任を考察することにより、計画論としての複眼的な問題意識を確立するとともに、論理的な思考とその表現方法を獲得する。 授業の概要:都市や地域におけるまちづくりの実態、計画・設計に関わる制度論や方法論について、ケーススタディを用いて考察と講述を行う。後半はテーマに応じた受講生の発表をもとに議論する。 授業計画:(1)現在の都市が抱える様相と都市づくりの課題、(2)中心市街地の実態、(3)東京都心の問題、(4)都市居住と居住環境、(5)都市景観と居住環境、(6)都市デザインと都市景観、(7)まちづくりと都市デザイン、(8)都市計画と規制緩和、(9)都市づくりの合意形成、(10)都市の将来像	西暦偶数年度開講。 OATTP21と同一。
01EB639	ランドスケープデザイン論特講	1	2.0	1・2	春AB	月3.4	5C618	藤田 直子	ランドスケープデザインに関する歴史から現代における意義や最新動向に至るまで、包括的な内容を講述する。	西暦偶数年度開講。
01EB634	環境デザイン演習	2	2.0	1	秋AB	木6集中	芸術B441	藤田 直子, 渡 和由, 野中 勝利, 橋本 剛	授業の到達目標及びテーマ:環境デザインに関する課題設定、コンセプト、構想、計画、デザインにかかわる一連のプロセス、表現方法について習得する。 授業の概要:環境デザインにかかわる具体的な課題をもとに計画、設計、デザインを実践的に行う。 授業計画:(1)課題の提示、関連事例の解説、(2)現地調査、敷地条件の確認、(3)設計指導1(コンセプト、構想)、(4)設計指導2(構想、計画)、(5)設計指導3(基本計画・エスキス模型)、(6)中間発表、講評、(7)設計指導4(基本計画、設計)、(8)設計指導5(基本設計)、(9)設計指導6(基本設計、模型)、(10)提出、発表、講評	OATTP42と同一。
01EB626	環境デザイン領域特別演習	2	3.0	1	通年	随時		野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由, 藤田 直子	環境デザインに関して、ゼミナール形式による演習を行う。研究倫理についても理解を深める。	教室:芸術学系棟B441
01EB707	環境デザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		野中 勝利, 橋本 剛, 渡 和由, 藤田 直子	ゼミナール形式により、各自の設定した研究テーマに基づき指導する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応。教室:芸術学系棟B441

専門科目【デザイン学領域群】【建築デザイン領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB616	建築構法論特講	1	2.0	1・2					受講生は任意に複数の建築物を取り上げ、建築の収まりの視点から作品鑑賞を行う。分析対象としては建築家の作品や歴史建造物等が考えられる。建築の部分と全体との関係、歴史・風土との関係等、収まりがどのようなコンテクストに位置付けられるかについて考察する。講義前半では一般図の他に詳細図、構造図、設備図等の必要な資料を収集し、どの部分の収まりを分析するか、テーマの絞り込みを行う。講義後半では、分析結果の報告会を行い、最後に分析した建築物の見学会を行う。	西暦奇数年度開講。 OATU113と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
01EB617	建築計画論特講	1	2.0	1・2	春AB	月5.6	5C615	花里 俊廣	建築計画学は、ビルディングタイプの学問と批判されて久しいが、近年では、新しい建物形式も生まれつつある。その背景には、こういった新しい建物を必要とする新しい機能についてのソフト面での展開がある。例えば、シェア居住の流れは、集合住宅には、それまでなかったような共用スペースを生むようになったし、病院では、以前には医療のための機械とも考えられ機能のみを求め計画されてきたが、医療自体の進歩に伴って患者やその家族にとっても快適な空間となることを求めて、新しい形態が現れている。近年の新しいビルディングタイプを計画する際には、どのような新たな変化に対しどんな新しい建築が計画されていくかは、十分に整理されていない。このように本授業では、新しい建築のあり方を決定づけているこういった基本コンセプトを言説や図面、写真などから明らかにし、これらの生まれてきた背景を探る。	西暦偶数年度開講。 OATU111と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB618	建築設計論特講	1	2.0	1・2	秋C春季休業中	集中		貝島 桃代	住宅論、建築論、都市論の視点から敷地周辺の環境や都市を観察し、その結果がどのように建築意匠に定着されるかについて、具体的な事例を取り上げて講述する。また、建築意匠論の実践として、受講生は各自で建築プロジェクトの提案を行う。提案は、任意で設定した敷地のコンテキストを分析した上で行うものとし、その場所で可能な建築意匠のあり方について学修する。授業の最後に、各自がまとめた建築プロジェクトの発表会と講評を行う。	西暦偶数年度開講。OATU112と同一。要望があれば英語で授業実務経験教員
01EB635	建築デザイン演習	2	2.0	1	春学期	随時	6A308	花里 俊廣, 山田 協太, 貝島 桃代, 加藤 研	特定課題を設けた建築デザイン分野に関する計画・設計の演習。	
01EB638	建築・都市フィールドデザイン論特講	1	2.0	1・2					建築及び都市の実地に即したデザイン手法・原理・課題を、世界各地の建築および都市環境の具体例をつづいて学ぶ。そこで暮らす人々の生活スタイル、社会構造、自然・生態との関わりを考察の主要な視座とする。さらにそうした場所における新たな建築・環境の設計の可能性について議論を行うとともに各自が独自の調査を行い、その結果をもとに建築・環境の具体的デザイン提案を行う。建築・環境のデザイン提案を発表し、講評することをつづいて学修成果を客観的に省察し、建築及び都市の実地に即したデザインの知識を深め、技能を身に付ける。	西暦奇数年度開講。OATU114と同一。2020年度開講せず。要望があれば英語で授業
01EB708	建築デザイン領域特別研究	2	3.0	2	通年	随時		花里 俊廣, 山田 協太, 貝島 桃代, 加藤 研	ゼミナール形式により、各自の設定した研究テーマに基づき指導する。研究倫理についても理解を深める。	14条対応

専門科目【デザイン学領域群】【複合領域】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EB620	デザイン総合演習	2	2.0	1・2	通年	随時		李 昇姫, 内山 俊朗, 山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之, 藤田 直子, 渡和由, 野中 勝利, 橋本 剛, 花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	情報・プロダクト・環境・建築の各デザインを複合する実践的なワークショップを行なう。	曜時限, 教室は所属する領域の教員に確認すること
01EB623	インターンシップ	3	1.0	1・2	通年	応談		山本 美希, 直江 俊雄, 橋本 剛, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山中 敏正, 小山 慎一, 山田 博之, 花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	デザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。国内外の企業や実践的プロジェクトにおける実習やインターンシップの機会も活用して、デザインの目的やプロセスを体験として修得する。	